

令和7年度 卒業式 式辞

厳しい寒さも和らぎ、春の訪れを感じる今日の良き日に、大阪府立高津高等学校第78回卒業証書授与式を、たくさんの保護者の皆様とともに、晴れやかに挙行できますことに、教職員一同この上ない喜びを感じております。

また、本日はお忙しい中、PTA会長山崎希正様、同窓会副会長成田勇様のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

さて、ただいま第78期生、344名の皆さんに、栄えある卒業証書を授与いたしました。卒業生の皆さん、卒業おめでとう！

皆さんとは二年間ではありますが、日々の授業はもとより、土曜講習や放課後講習に日々継続して真摯に取り組む姿を見てきました。その学習の必要性を理解し、自身の進路実現に向かって努力すること、また、揺るがぬ自律の精神は大したものです。

また、高津高校の特色である、グローバルリーダーズハイスクールかつスーパーサイエンスハイスクール指定校としての取組である、「創造探究」や「国際交流」、「サイエンスツアー」など、多彩な取組にもたくさんの人が積極的に取り組んでくれました。

それらの取組で得られた知識や経験は、これからの人生できっと生きる場面が来ると思っています。

さらに、勉強以外にも、部活動や学校行事において、時間のない中、妥協することなく、一生懸命取り組む姿は本当にかっこよかった。部活動で、同じ志向や目標を持つ仲間と過ごす時間はとても充実したものだったと思います。そこで得られた仲間との絆をぜひ大切にしてください。

体育祭で各クラスの個性的なユニフォームで真剣に走る姿は華やかで、コミカルで微笑ましくも、それを上回る迫力を感じました。表彰式での嬉し涙や悔し涙、皆さんの達成感に満ちた表情は強く印象に残っています。文化祭でのパフォーマンスには、クオリティの高さだけでなく、周りの人を楽しませようというおもてなしの心を感じました。

ただ、何よりも一人ひとりがその瞬間に「夢中になれたこと」「全力で取り組んだこと」が、高校生として最も素晴らしいことであり、大切なことだと思っています。

そんな皆さんの晴れやかな門出にあたり、私からの餞として、三つのことを伝えたいと思います。

一つは、「問い続ける」ということです。

皆さんは、高津高校の進路指導のモットーである「学校中心の生活」を心がけて学習に取り組み、その結果、進路を決定した人もいます。それは高津生として、主体的に講習に参加した成果であり、その賜物です。しかしながら、それらはどこまで行っても学び、習う、すなわち「学習」であり、あくまでも先生から受け取るものです。

それも正しい生き方であり、皆さんが確実に学力を伸ばしてきた成果だと言えますが、卒業後、大学で経験するのは、「学習」ではなく「学問」であり、読んで字のごとく「学び、問う」ものです。

現在は、日々変化が激しく、AIの進化やデジタル社会の加速化、不確実な世界情勢等により、今の常識は数年後には異なるものとなる可能性があります。そういう点で、ただ教えられたものを素直に受け入れるだけでなく、それが本当に正しいのか、正解は他にないのかと、広く、深く、粘り強く、「問い続ける」姿勢が大事です。

とはいえ、すでに皆さんは、本校において、「学問」のさわりを「課題研究」で経験しています。自らテーマや問いを立て課題を解決する。そのために試行錯誤し、方法が間違っていれば修正する。そうして、今得られる最適解を何とか絞り出す。それはすなわち「学問」であり、終わりのない学びです。ゆえに「学び、問い続ける」のは、大学だけではありません。社会に出れば、100点満点の正解などめったにありません。今ある環境の中で、様々な条件を踏まえて結論を出す。生きるというのは、まさにその繰り返しであり、「学び、問い続ける」ものだと言えます。

二つめは、集会で何度も言っていますが、「ポジティブに生きる」ということです。

日頃、皆さんと会話する中で、ポジティブな面を多々感じるところがありますし、皆さん自身、3年間「自由と創造」の校風に触れ、間違いなく他校にはないバイタリティが身についています。これからも、少々失敗しても、間違っても、切り替えて頑張る。次は必ず成功するぞ、というポジティブな発想を期待します。

最後は、「挑戦」です。よく日本人は自己肯定感が低いと言われます。また、皆さんからも「自信がないので・・・」という言葉がたまに聞きますが、それは全く逆です。最初から自信のある人はいませんし、「挑戦」するから「自信」が生まれます。やりたいことに一歩踏み出す、勇気を出して「挑戦」することで「自信」が生まれます。できないことをできるまで頑張る。その「努力」が「自信」を生み出すのです。

最近は何やら小さな失敗も許されない風潮があり、失敗しないように、失敗しないようにと行動する人が増えてきましたが、皆さんには、卒業後も常に失敗を恐れず、失敗してもへこたれず、「挑戦」し続けてほしいと思います。

最後になりましたが、この日を迎えられるのは、日々温かく深い愛情を持って、皆さんを支え、励ましてくださったご家族やたくさんの方々の周りの方々のご支援のお陰でもあります。さきほど、皆さんに「ポジティブに生きよう」と伝えましたが、本日教室に貼ってある保護者の方からのメッセージの中に、第一希望の進路が叶わなかったお子様に向けたこんな一言がありました。

「自分の選ばなかった道は、意外と面白いかもしれません。応援しています。」

なんと愛のこもったポジティブなメッセージでしょう。このメッセージだけでなく、たくさんの方々の愛のこもったメッセージ、また、親子にしかわからない謎のメッセージもあり、心がきれいになりました。本当にありがとうございました。

卒業生の皆さん、どうか今日は家に帰ったら、保護者の方にあらためて「ありがとう」を伝えてください。そして、握手をして、手の温もりを感じてください。それでも足りない人は、ハグをして全身で感謝を表してください。

保護者の皆様、本日まで、お子様の成長を思い、日々温かく見守り、支えていただき、ありがとうございました。行き届かない点も多々あったかと存じますが、これまで本校教育活動にご理解、ご協力、ご支援いただきましたことに心より深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

78期生の皆さん、卒業、本当におめでとう。そして、楽しい時間をありがとう。皆さんの今後のご活躍と輝かしい人生を心から祈念して式辞といたします。

令和8年3月3日
大阪府立高津高等学校 校長 寺本 圭一

